

## たとえ話の不思議さ

(マルコ12・15-12)

## 一、マルコの福音書の読者

1節に「ある人がぶどう園を造った。垣根を巡らし、踏み場を掘り、見張りやぐらを建て、それを農夫たちに貸して旅に出た。」とあります。このように語ることができたのは、主イエスが子供の頃からぶどう園を身近に見て育ったからなのであります。同時にもう一つ考えられるのは、読者が分かるようにとの、福音書記者マルコによる配慮です。マルコの福音書の読者は、ユダヤの人々ではありませんでした。ローマの人々です。したがってガリラヤ地方のことなどほとんど分かりませんでした。当然のこと、主イエスが語られた「ぶどう園」ということは聞いても、良く分からなかったわけです。そこで、マルコは主イエスが語られたことばを、はしよらずに述べているわけです。

## 二、たとえ話の不思議さ

この話を聞いていたのは、まず弟子たちでした。次に、群衆、そして祭司長たち、律法学者たち、長老たちです。11章27節と12章12節より、分かります。では、主イエスはこのたとえ話を、祭司長たち、律法学者たち、長老たちに対して「当て付けて」語られたのでしょうか。

と言いますのは、祭司長たち、律法学者たち、長老たちが、主イエスの語られたたとえ話を聞いて、次のように語ったからです。「彼らは、このたとえ話が自分たちを指して語られたことに気づいたので、」と。私はちがうと思います。たとえ話は、それを聞いている者たちの心にあるものが反応して、内から思いが出てくるものだからです。

最近面白いことを経験しました。以前より2階の牧師室は、階段側の小窓を開け、牧師室の中に扇風機を置いて、空気を階段側に出し、循環させています。以前の扇風機はカバーが壊れてしまい、別の扇風機を設置しました。扇風機を回していますと、風が木製のブラインドに当たり、私の耳には音楽が聞こえて来るような気がするのです。しかも聖歌229番「驚くばかりの」のメロディに聞こえて来るので、事務室で音楽をかけているのかと思ひ、事務室に行くと言葉はかかっているのではないのです。どうやら、「扇風機の風によって木製のブラインドが奏でる音が、私の内に記憶されているメロディを引き出しているようです。心というのはそういうものかと思ひます。ならば、主イエスが語られたたとえもそうです。たとえそのものは、それ自体に意味があるというよりは、聞く人の思いが引き出されるものです。

## 三、たとえ話に聞く

再び1節を見てまいります。「ある人からイエスは、たとえで彼らに話し始められた。『ある人がぶどう園を造った。垣根を巡らし、踏み場を掘り、見張りやぐらを建て、それを農夫たちに貸して旅に出た。』とあります。この話を最初に聞いたユダヤ人たちは、預言者イザヤのことばを思い浮かべたはずですが、(イザヤ5・15)と。ところが、主イエスが語られた話は異なっていました。たとえ話なので、ざっくり捉えるとして、「ある人」は、ぶどう園の主人であり、父である神です。「ある人」がぶどう園を造り、垣根を巡らし、踏み場を掘り、見張りやぐらを建て、それを農夫たちに貸して旅に出たのでした。そして2節には、収穫の時になり、ぶどう園に実りがあつたと語られています。これも、イザヤ書とは異なります。すなわち、主イエスの語られたたとえ話は、導入部分は預言者イザヤのことばを思わせるものでありながら、全くの「べつもの」でした。

収穫の時になりました。ぶどう園は主人のものですから、収穫の一部を受け取って当然です。ところが農夫たちは、主人が遣わしたしもべを捕らえて打ちたたき、何も持たせないで送り返しました。その後、農夫たちの悪行はエスカレートして行きます。こうして主人は決断しました。6節です。しかし、

主人にはもう一人、愛する息子がいた。

彼は『私の息子なら敬つてくれるだろう』と言って、最後に、息子を彼らのところに遣わした。」とあります。「お人好しにも、限度があるだろう」と、この話を聞いていた人たちは感じたことと思われまふ。農夫たちは話し合い、主人の息子を殺してしまいました。この話を最初に聞いた弟子たち、群衆、祭司長たち、律法学者たち、長老たちは、主人の息子が主イエスを指すとは思わなかったことでありまふ。ですが教会が誕生し、このたとえ話が共有されたとき、「愛する息子」は主イエス・キリストご自身を指していることが、だれから説明されるまでもなく分かりました。では、9節はどうでしょうか。「ぶどう園の主人はどうするでしょうか。やってくる、農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるでしょう。」とあります。最初に聞いた人たちは様々に考えたことでありまふ。しかし紀元70年にローマ軍によって神殿が破壊され、135年にはローマ帝国によってユダヤ人がエルサレムから追放されましたから、このたとえ話は預言としても受け止められたと考えられます。

たとえ話は、それ自体に意味があるとして読むよりも、聖書全体を視野に入れつつ、どんな意味を見いだすことができるかとして、読んで行くのがふさわしいです。